

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

|        |  |  |
|--------|--|--|
| 商品分類   | 追加型投信／国内／株式  |  |
| 信託期間   | 2021年6月1日から原則として、無期限とします。  |  |
| 運用方針   | 主として、MASAMITSU日本株戦略マザーファンドの受益証券（以下「マザーファンド受益証券」といいます。）への投資を通じて、わが国の金融商品取引所上場株式（上場予定も含みます。）に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。   |  |
| 主要運用対象 | MASAMITSU日本株戦略ファンド（DC向け）   | 下記のマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。   |
|        | MASAMITSU日本株戦略マザーファンド  | わが国の金融商品取引所（金融商品取引法第2条第16項に規定する金融商品取引所および金融商品取引法第2条第8項第3号ロに規定する外国金融商品市場を「取引所」といい、取引所のうち、有価証券の売買または金融商品取引法第28条第8項第3号もしくは同項第5号の取引を行う市場および当該市場を開設するものを「証券取引所」といいます。以下同じ。）上場株式を主要投資対象とします。 |
| 組入制限   | MASAMITSU日本株戦略ファンド（DC向け）   | 株式への実質投資割合には制限を設けません。  |
|        | MASAMITSU日本株戦略マザーファンド  | 株式への投資割合には制限を設けません。  |
| 分配方針   | 原則として、年1回（毎年10月25日。但し休業日の場合は翌営業日）決算を行い、以下の方針に基づき分配を行います。<br>① 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。<br>② 分配原資の範囲内で委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して収益分配金額を決定し、収益の分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。<br>③ 収益分配にあてず信託財産内に留保した利益は、運用の基本方針に基づき運用を行います。 |  |

# MASAMITSU 日本株戦略ファンド (DC向け)

追加型投信／国内／株式

## 運用報告書（全体版）

第3期（決算日 2023年10月25日）

### 受益者のみなさまへ

平素は、格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「MASAMITSU日本株戦略ファンド（DC向け）」は、2023年10月25日に第3期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

## ファイブスター投信投資顧問株式会社

東京都中央区入船1-2-9 八丁堀MFビル8階

照会先

ホームページアドレス：<https://www.fivestar-am.co.jp/>

お客様デスク：03-3553-8711

（受付時間：委託会社の営業日の午前9時～午後5時まで）

[運用報告書の表記について]

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率および騰落率は小数点第2位または小数点第2位未満を四捨五入しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値について小数表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ★設定以来の運用実績

| 決算期                  | 基準価額        |        |        | 参考指数     |        | 株式組入比率 | 株式先物オプション組入比率 | 純資産総額      |
|----------------------|-------------|--------|--------|----------|--------|--------|---------------|------------|
|                      | (分配落)       | 税込み分配金 | 期中騰落率  |          | 期中騰落率  |        |               |            |
| (設定日)<br>(2021年6月1日) | 円<br>10,000 | 円<br>— | %<br>— |          | %<br>— | %<br>— | %<br>—        | 百万円<br>300 |
| 1期(2021年10月25日)      | 10,374      | 0      | 3.7    | 1,995.42 | 3.6    | 95.8   | —             | 311        |
| 2期(2022年10月25日)      | 9,331       | 0      | △10.1  | 1,907.14 | △4.4   | 96.3   | 0.0           | 280        |
| 3期(2023年10月25日)      | 10,311      | 0      | 10.5   | 2,254.40 | 18.2   | 95.5   | —             | 368        |

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みの数値です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「株式先物オプション組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 株式先物オプション組入比率は買建比率－売建比率

(注4) 設定日の基準価額および純資産総額は、それぞれ当初設定価額および当初設定元本額を記載しています。

## ★当期中の基準価額と市況等の推移

| 年月日              | 基準価額       |        | 参考指数     |        | 株式組入比率    | 株式先物オプション組入比率 |
|------------------|------------|--------|----------|--------|-----------|---------------|
|                  |            | 騰落率    |          | 騰落率    |           |               |
| (期首) 2022年10月25日 | 円<br>9,331 | %<br>— |          | %<br>— | %<br>96.3 | %<br>0.0      |
| 10月末             | 9,448      | 1.3    | 1,929.43 | 1.2    | 95.4      | 0.0           |
| 11月末             | 9,673      | 3.7    | 1,985.57 | 4.1    | 96.6      | 0.0           |
| 12月末             | 9,246      | △0.9   | 1,891.71 | △0.8   | 96.3      | —             |
| 2023年1月末         | 9,538      | 2.2    | 1,975.27 | 3.6    | 97.1      | —             |
| 2月末              | 9,603      | 2.9    | 1,993.28 | 4.5    | 96.8      | —             |
| 3月末              | 9,770      | 4.7    | 2,003.50 | 5.1    | 95.0      | —             |
| 4月末              | 9,864      | 5.7    | 2,057.48 | 7.9    | 96.1      | —             |
| 5月末              | 10,111     | 8.4    | 2,130.63 | 11.7   | 96.1      | —             |
| 6月末              | 10,933     | 17.2   | 2,288.60 | 20.0   | 96.7      | —             |
| 7月末              | 11,020     | 18.1   | 2,322.56 | 21.8   | 96.9      | —             |
| 8月末              | 10,991     | 17.8   | 2,332.00 | 22.3   | 96.6      | —             |
| 9月末              | 10,707     | 14.7   | 2,323.39 | 21.8   | 96.0      | —             |
| (期末) 2023年10月25日 | 10,311     | 10.5   | 2,254.40 | 18.2   | 95.5      | —             |

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「株式先物オプション組入比率」は実質比率を記載しております。

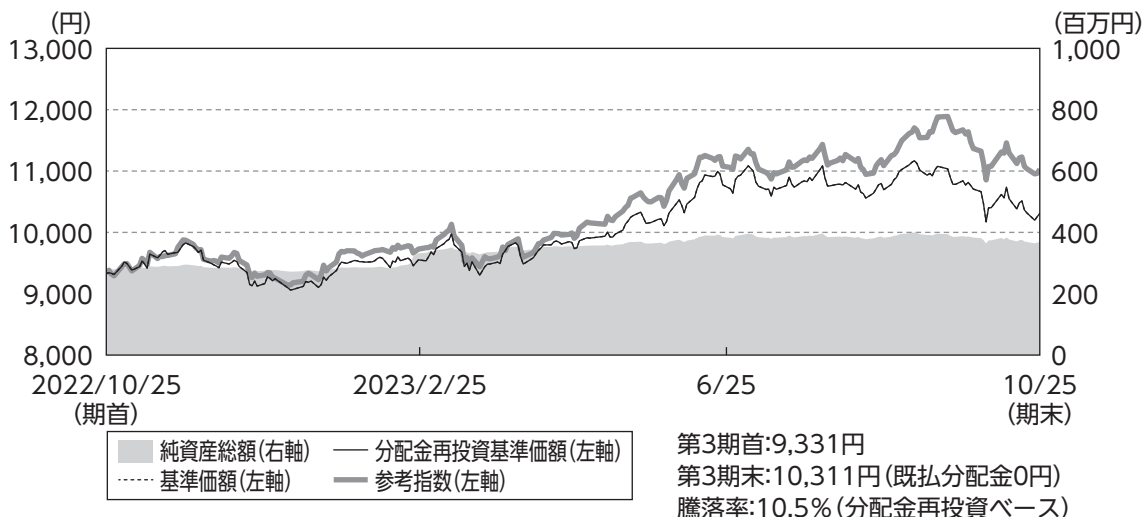
(注3) 株式先物オプション組入比率は買建比率－売建比率

参考指数はTOPIX（東証株価指数）です。

TOPIX（東証株価指数）とは、株式会社JPX総研（以下「JPX」）が算出、公表する指数で、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数は、JPXの知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関する全ての権利は、JPXが有しております。なお、JPXは、ファンドの設定又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

## ★運用経過

### ☆基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークはありません。参考指数はTOPIX(東証株価指数)です。詳細につきましては後記をご覧ください。

(注4) 分配金再投資基準価額及び参考指数は、2022年10月25日の基準価額に合わせて指数化しています。

## ☆基準価額の主な変動要因

### <上昇要因>

- ・2022年11月:10日に発表された米国CPI(消費者物価指数)が前年同月比+7.7%上昇と、前月の+8.2%上昇から減速し、市場予想を下回ったことで、米国の金融引き締めペースが減速するとの思惑などから世界的に株価が上昇したこと
- ・2023年1月:18日の日銀の金融政策決定会合で、イールドカーブコントロール(長短金利操作、YCC)政策の撤廃などを含む政策修正があるとの一部の市場見通し予想に反して、金融緩和政策の現状維持が決定されたことを受けて、円安進行が好感されたこと
- ・2023年5月:米国の半導体大手エヌビディア社の好決算を受けて、生成AI(人工知能)が市場の大きなテーマとなり、半導体製造装置株などハイテク関連株が大幅上昇となり相場をけん引し、また、昨年11月以来の6ヵ月ぶりに140円台をつける円安ドル高が進行したことも好感されたこと
- ・2023年6月:底堅い米経済指標を受けて米景気の楽観的な見方やインフレ鈍化期待などが広がったことなどを背景に米国株が上昇し、また、日銀政策決定会合で金融緩和を継続する現状維持を決定したことでの安心感や、円安進行の追い風などを受けたこと
- ・2023年8月:下旬、ジャクソンホール会議でのパウエルFRB(米連邦準備制度理事会)議長の講演内容ではややタカ派的ではあったものの、事前の市場は警戒ムードを高めていただけに、およそ想定内との印象を市場に与え、イベントを無事に通過したとの安堵感が広がり、米国株の上昇を好感したこと

### <下落要因>

- ・2022年12月:FRB(連邦準備制度理事会)の政策金利見通しにおいて、2023年末の予想中央値が従来の4.6%から5.1%に引き上げられたことや、日本銀行のイールドカーブコントロール(長短金利操作、YCC)政策の修正(10年国債の許容変動幅を±25bpから±50bpに拡大)が日本の金融引き締めへの転換の第一歩と市場で捉えられたことなどで、世界的な金利上昇圧力が強まったことを背景に、世界的に株価が下落したこと
- ・2023年3月:10日に米国の新興企業向けに事業を展開するSVB(シリコン・バレー・バンク)ファイナンシャル・グループ社に続き、12日には暗号資産(仮想通貨)企業への融資が多いシグネチャー・バンク社と、相次ぐ米銀の経営破綻によって破綻の連鎖への警戒感が強まり、また、20日にクレディ・スイス・グループが発行する一部の債券(その他ティア1債=AT1債とも呼ばれ、株式と債券の中間の性質を持った証券のひとつで、発行体の自己資本比率が一定の水準を下回った場合や監督当局の決定などにより、強制的に元本が削減されたり株式に転換されたりする特性がある)価値がゼロになるとスイス当局が発表したことで、北欧の金融に対する不安感が強まったことなどを嫌気したこと
- ・2023年7月:5日に公表された6月のFOMC(米連邦公開市場委員会)議事録において、複数の米FOMCメンバーが利上げに積極的だったことが明らかとなり、米国10年債利回りが4ヵ月ぶりに4%台を超えて上昇するなど、米金融引き締め政策が長期化するとの警戒感が重荷となったこと
- ・2023年8月:上旬から中旬、フィッチ(格付け会社フィッチ・レーティングス)が米国債格付けを引き下げたことと、日銀によるイールドカーブコントロール(長短金利操作、YCC)政策の柔軟化で、日米と共に金利が上昇したことに加え、下旬に予定されているジャクソンホール会議でのパウエルFRB(連邦準備制度理事会)議長の発言への警戒感が重荷となったこと
- ・2023年9月:20日の米FOMC(連邦公開市場委員会)において政策金利は据え置かれたものの、先行きの政策金利見通しにおいて2024年末の金利見通し(中央値)が前回から0.5%引き上げられ上方修正されたことで、米国の金融引き締め政策の長期化懸念が強まり、世界的に株価が下落したこと

## ☆投資環境

(期初2022年10月26日～期末2023年10月25日)

本ファンドの期末には日経平均株価指数は31,269.92円となり、期初前日の27,250.28円と比較して、+4,019.64円上昇し+14.75%の上昇率となりました。また、同期間のTOPIX(東証株価指数)(配当込み)は、+662.64ポイント上昇し+21.24%の上昇率となりました。一方、同期間の東証マザーズ指数は、-90.27ポイント下落し-12.24%の下落率となりました。

日本株式市場は、11月の月初に開催された米FOMC(連邦公開市場委員会)後のパウエルFRB(連邦準備制度理事会)議長の会見で、利上げの最終到達点はこれまでの想定よりも高くなるとの見方を示したことを受け、米国債金利が上昇に転じたことなどが重荷となりました。しかし、10日に公表された米国CPI(消費者物価指数)が市場予想を下回ったことで、FRBが利上げペースを減速するとの思惑などから米国債金利が低下し、世界的に株価が上昇する推移となりました。しかし、12月には、FRBが公表した政策金利見通しで、金利はさらに引き上げられ、より長期にわたり高水準に維持されるとの見方を示したことなどが嫌気され、米国株が下落し、世界的に株価は調整色を強める推移となりました。また、日銀が予想外にイールドカーブコントロール(長短金利操作、YCC)政策の調整を発表し、事実上の利上げ政策へ転換するなど、世界的な金利上昇を意識する展開となり、年末にかけて、世界的に株価は下落に転じました。2023年1月年初は、引き続き、各国主要中央銀行が金融引き締めスタンスを強める姿勢を継続していることなどで、景気後退懸念を意識する軟調なスタートとなりました。しかし、米国10年債利回りが一時3.3%前半まで低下したことなどを好感し、米国株は上昇基調に転じました。また、日本市場では、18日の日銀の金融政策決定会合で、一部の市場見通し予想に反して、緩和政策の現状維持が決定されたことなどをを受けて、ドル円相場が一時130円台まで円安に振れたことも追い風となりました。中国のゼロコロナ政策の終了に伴う中国経済の回復期待や中国からのインバウンド需要の回復期待なども好感され、堅調な推移となりました。2月は、月初では米FOMCを受けて、金融引き締めに軟化傾向が見られたことなどから、1月の堅調な流れを引き継ぎ上昇して始まりました。しかし、その後の米経済指標からは物価上昇圧力の根強さを意識させる内容となり、また、FRB高官からのタカ派的な発言などを受け、金融市場では一段の利上げを織り込む向きが進み、米国株が下落したことなどが重荷となりました。しかし、次期日銀総裁の今後の金融政策方針において、現在の金融緩和策を当面続けるとの姿勢を示したことや、米国債利回りの上昇による日米金利差拡大の思惑などから円安が進んだことなどが下支えとなり、底堅い推移となりました。3月に入っても円安が進行し、輸出関連業種への業績期待が強まるなどして上昇しました。しかし、米国の新興企業向けに事業を展開するSVB(シリコン・バレー・バンク)ファイナンシャル・グループ社に続き、シグネチャー・バンク社と、米銀の相次ぐ経営破綻によって、破綻の波が広がることへの警戒感から世界的に株価が急落しました。また、スイスの金融大手クレディ・スイス・グループの経営不安が重なったことも下落に拍車をかけることとなりました。20日には、スイスの銀行大手UBSグループによるクレディ・スイス・グループの買収が合意と伝えられるも、クレディ・スイス・グループが発行する一部の債券(その他ティア1債=AT1債とも呼ばれ、株式と債券の中間の性質を持った証券のひとつ)価値がゼロになるとスイス当局が発表したことで、北欧の金融に対する不安感が強まり、下げ幅を拡大する推移となりました。しかし、3月下旬は、スイスの金融大手クレディ・スイ



ス・グループの経営不安や、米銀の相次ぐ経営破綻に対し、スイスの銀行大手UBSグループによるクレディ・スイス・グループの買収発表が迅速に行われたことや、米金融当局が経営不安に陥った金融機関への救済措置を迅速に進めたことなどで、反発する推移となりました。4月も上昇で始まり、大手米銀の決算内容が好調だったこともあり、緩やかに上昇基調を辿りました。また、決算発表を行った米メタ・プラットフォーム社の株価が大幅高となり、大型テック関連株の下期回復期待の高まりなどが追い風となりました。5月は、米債務上限問題の先行き不透明感が相場の重荷となりましたが、半導体市況の回復期待の高まりから、半導体製造装置などハイテク関連株が相場をけん引し、世界的に株価が上昇しました。米国の半導体大手エヌビディア社の好決算を受けて、生成AI(人工知能)が市場の大きなテーマとなり、半導体・同製造装置セクターが堅調に推移し、米債務上限問題を巡る不透明感が後退したことも好感されました。6月も大幅上昇となりました。世界的な金融引き締め長期化懸念が重荷となりましたが、底堅い米経済指標を受けて米景気の楽観的な見方やインフレ鈍化期待などが広がり、衆議院解散の見送りや月後半の年金売り観測などが重荷となるも、米国株の上昇に加え、日銀政策決定会合で金融緩和を継続する現状維持の決定や、円安進行の追い風などを受けて、堅調な推移となりました。7月に入ると、米国10年債利回りが4ヵ月ぶりに4%台を超えて上昇し、米金融引き締め政策が長期化するとの警戒感などにより株価は下落しましたが、6月の米国CPIが市場予想より鈍化したことが好感され、米国の金融引き締め長期化懸念が後退し、上昇に転じました。8月上旬では、フィッチ(格付け会社フィッチ・レーティングス)が米国債格付けを引き下げたことや、下旬に予定されているジャクソンホール会議でのパウエルFRB議長の発言への警戒感が高まったこともあり、上値の重い展開となりました。下旬には、ジャクソンホール会議でのパウエルFRB議長の講演内容がおよそ想定内との印象を市場に与え、また、米国の経済指標が軟調だったことから、FRBの金融引き締め政策継続の観測が後退して米国債金利の上昇の勢いが止まり、米国株の上昇を受けて、上昇しました。9月も堅調を維持して、中旬にかけて、市場で警戒された8月の米国CPIの発表を大きな波乱なく通過し、米国の金融引き締め長期化への過度な警戒感が和らいだことなどをを受けて、半導体製造装置や電子部品の関連株が相場の上昇をけん引しました。しかし、中旬以降は、米FOMCにおいて政策金利は据え置かれたものの、2024年以降の利下げペース鈍化の可能性が高まったことを受け、欧米金利が上昇傾向を強めたことから、株価は世界的に下落に転じました。10月も続落し、米国金利が更に上昇を続ける中、中国経済への懸念や中東情勢の緊迫化などが加わり、当期末にかけて、下落幅を拡げる推移となりました。

## ☆当該投資信託のポートフォリオ

### <MASAMITSU日本株戦略ファンド(DC向け)>

当ファンドは、主要投資対象の「MASAMITSU日本株戦略マザーファンド(以下、マザーファンドとい  
います。)」受益証券の組入比率を通常の状態でも高位に維持することを基本としました。当ファンドは、マ  
ザーファンドを通じて、日本の株式に投資する戦略で運用を行う事を基本としているため、基準価額はマ  
ザーファンドの運用成果の影響を大きく受けました。

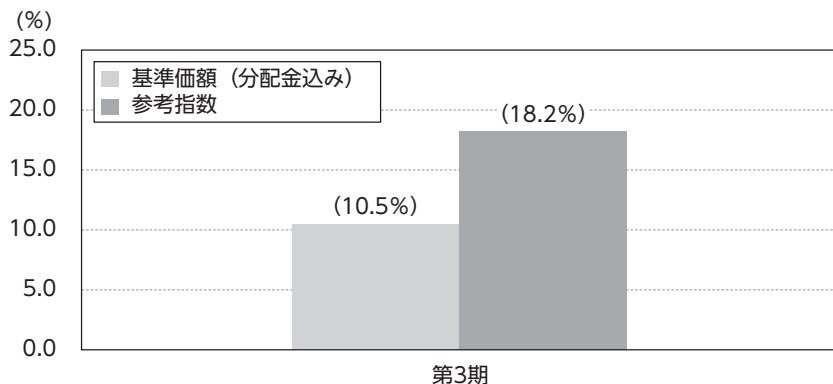
### <MASAMITSU日本株戦略マザーファンド>

当ファンドは、主として、わが国の金融商品取引所上場株式を投資対象とし、国内外のマクロ分析及び  
重要イベントの予測を通じて投資テーマを設定し、そのテーマに合致する企業への投資を重視しました。  
銘柄の選定においては、成長性、収益性、安定性を網羅したボトムアップリサーチに基づき、個々の企業の  
信用力、経営力、成長力を重視し選定しました。株式の組入比率は、通常の状態でも原則として高位を基本と  
しました。ボトムアップリサーチによる個別企業分析を通じ、ファンドサイズに応じた最適な投資銘柄を  
選定した株式に投資を行い、全セクターを広く投資対象とする一方で、金融・不動産セクターを最重要セ  
クターと位置づけ、個別銘柄投資の成果を享受できるようにポートフォリオを構築しています。当期にお  
いては、投資対象を特定のテーマや業種などに限定せず、また、バリュー株(割安株)やグロース株(成長  
株)のいずれも幅広く投資対象として運用を行いました。中長期投資を主眼としながらも、短期的な投資  
リターンを極大化という観点を取り入れて、株式市況環境を鑑みながら調整を行い、銘柄選択や銘柄入替  
を機動的に行いました。

## ☆当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注)基準価額の騰落率は分配金込みです。

## ☆分配金

運用の基本方針等を勘案し、収益分配金は見送らせていただきました。なお、留保金の運用については特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

(1万口当たり・税引前)

| 項目        | 第3期                     |     |
|-----------|-------------------------|-----|
|           | 2022年10月26日~2023年10月25日 |     |
| 当期分配金     | (円)                     | —   |
| (対基準価額比率) | (%)                     | (—) |
| 当期の収益     | (円)                     | —   |
| 当期の収益以外   | (円)                     | —   |
| 翌期繰越分配対象額 | (円)                     | 535 |

(注1)「当期の収益」及び「当期の収益以外」は、円未満を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

## ★今後の運用方針

### <MASAMITSU日本株戦略ファンド(DC向け)>

当ファンドは、主としてMASAMITSU日本株戦略マザーファンドの受益証券を通じて、わが国の金融商品取引所上場株式(上場予定を含みます。)に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

### <MASAMITSU日本株戦略マザーファンド>

当ファンドは、今後も従来の運用方針を継続します。主として、わが国の金融商品取引所上場株式を投資対象とし、国内外のマクロ分析及び重要イベントの予測を通じて投資テーマを設定し、そのテーマに合致する企業への投資を重視します。銘柄の選定においては、成長性、収益性、安定性を網羅したボトムアップリサーチに基づき、個々の企業の信用力、経営力、成長力を重視し選定します。株式の組入比率は、通常の状態原則として高位を基本とします。中長期投資を主眼としながらも、短期的な投資リターンの極大化という観点も取り入れた運用を心がけ、銘柄選択や銘柄入れ替えを機動的に行います。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



## ☆1万口当たりの費用明細

| 項目          | 第3期                       |        | 項目の概要   |
|-------------|---------------------------|--------|---|
|             | (2022年10月26日～2023年10月25日) |        |   |
|             | 金額(円)                     | 比率(%)  |   |
| (a) 信託報酬    | 114                       | 1.14   | (a)信託報酬＝〔期中の平均基準価額〕×信託報酬率<br>期中の平均基準価額は10,075円です。<br>信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。<br>委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価<br>交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、<br>購入後の情報提供等の対価<br>運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価   |
| (投信会社)      | ( 55)                     | (0.55) | (b)売買委託手数料＝ $\frac{〔期中の売買委託手数料〕}{〔期中の平均受益権口数〕} \times 10,000$<br>売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う<br>手数料   |
| (販売会社)      | ( 55)                     | (0.55) |   |
| (受託会社)      | ( 4)                      | (0.04) |   |
|             |                           |        |   |
| (b) 売買委託手数料 | 73                        | 0.72   | (c)有価証券取引税＝ $\frac{〔期中の有価証券取引税〕}{〔期中の平均受益権口数〕} \times 10,000$<br>有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金  |
| (株式)        | ( 73)                     | (0.72) |   |
| (投資証券)      | ( -)                      | ( -)   |   |
| (新株予約権証券)   | ( -)                      | ( -)   |   |
| (先物オプション)   | ( 0)                      | (0.00) |   |
| (信用)        | ( -)                      | ( -)   |   |
| (投資信託受益証券)  | ( -)                      | ( -)   |   |
|             |                           |        |   |
| (c) 有価証券取引税 | -                         | -      | (d)その他費用＝ $\frac{〔期中のその他費用〕}{〔期中の平均受益権口数〕} \times 10,000$<br>保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保<br>管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用<br>監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用<br>印刷費用は、交付運用報告書等の作成・印刷・送付に係る費用、及び<br>信託財産計理業務に係る費用<br>信用取引は、信用取引に係る品賃料、未払配当金等<br>その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料 |
| (株式)        | ( -)                      | ( -)   |   |
| (投資証券)      | ( -)                      | ( -)   |   |
| (新株予約権証券)   | ( -)                      | ( -)   |   |
| (先物オプション)   | ( -)                      | ( -)   |   |
| (信用)        | ( -)                      | ( -)   |   |
| (投資信託受益証券)  | ( -)                      | ( -)   |   |
|             |                           |        |   |
| (d) その他費用   | 63                        | 0.63   | (d)その他費用＝ $\frac{〔期中のその他費用〕}{〔期中の平均受益権口数〕} \times 10,000$<br>保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保<br>管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用<br>監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用<br>印刷費用は、交付運用報告書等の作成・印刷・送付に係る費用、及び<br>信託財産計理業務に係る費用<br>信用取引は、信用取引に係る品賃料、未払配当金等<br>その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料 |
| (保管費用)      | ( -)                      | ( -)   |   |
| (監査費用)      | ( 31)                     | (0.31) |   |
| (印刷費用)      | ( 32)                     | (0.32) |   |
| (信用取引)      | ( -)                      | ( -)   |   |
| (その他)       | ( 0)                      | (0.00) |   |
|             |                           |        |   |
| 合計          | 250                       | 2.49   |   |

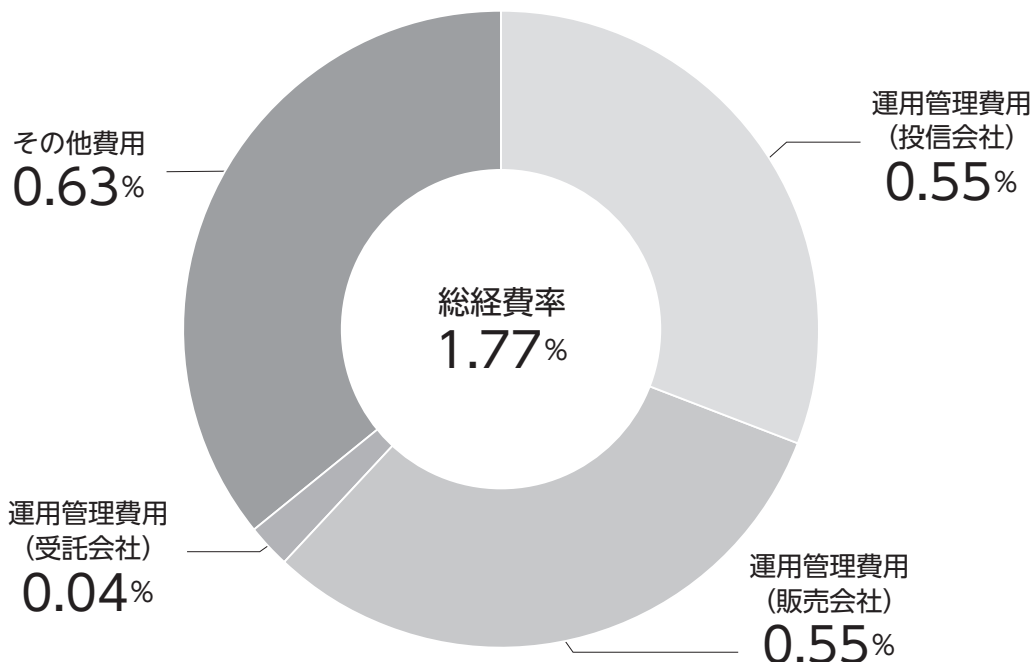
(注1) 期中の費用(消費税にかかるものは消費税を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.77%です。



(注1)費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)各比率は、年率換算した値です。

(注4)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

★売買および取引の状況（2022年10月26日～2023年10月25日）

親投資信託受益証券の設定・解約状況

| 項目                    | 設定     |        | 解約    |       |
|-----------------------|--------|--------|-------|-------|
|                       | 口数     | 金額     | 口数    | 金額    |
|                       | 千口     | 千円     | 千口    | 千円    |
| MASAMITSU日本株戦略マザーファンド | 19,516 | 54,000 | 2,121 | 6,400 |

★親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項目                | 当期                    |
|-------------------|-----------------------|
|                   | MASAMITSU日本株戦略マザーファンド |
| (a) 期中の株式売買金額     | 68,920,658千円          |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額 | 10,174,482千円          |
| (c) 売買高比率(a)／(b)  | 6.77%                 |

(注) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

★利害関係人との取引状況等（2022年10月26日～2023年10月25日）

(1) 利害関係人との取引状況

<MASAMITSU日本株戦略ファンド（DC向け）>

該当事項はございません。

<MASAMITSU日本株戦略マザーファンド>

| 区分 | 当期            |                    |               |               |                    |               |
|----|---------------|--------------------|---------------|---------------|--------------------|---------------|
|    | 買付額等<br>A     | うち利害関係人<br>との取引状況B | $\frac{B}{A}$ | 売付額等<br>C     | うち利害関係人<br>との取引状況D | $\frac{D}{C}$ |
| 株式 | 百万円<br>32,314 | 百万円<br>214         | %<br>0.6      | 百万円<br>36,606 | 百万円<br>286         | %<br>0.7      |

平均保有割合 3.2%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

| 項目               | 当期      |
|------------------|---------|
| 売買委託手数料総額 (A)    | 2,418千円 |
| うち利害関係人への支払額 (B) | 26千円    |
| (B) / (A)        | 1.1%    |

\*売買委託手数料総額は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは日産証券です。

★組入資産の明細 (2023年10月25日現在)

親投資信託残高

| 銘 柄 名                 | 前期末     | 当期末     |         |
|-----------------------|---------|---------|---------|
|                       | 口 数     | 口 数     | 評 価 額   |
|                       | 千口      | 千口      | 千円      |
| MASAMITSU日本株戦略マザーファンド | 103,032 | 120,426 | 364,820 |

★有価証券の貸付及び借入の状況 (2023年10月25日現在)

該当事項はございません。

★投資信託財産の構成

(2023年10月25日現在)

| 項目                    | 当期末     |       |
|-----------------------|---------|-------|
|                       | 評価額     | 比率    |
|                       | 千円      | %     |
| MASAMITSU日本株戦略マザーファンド | 364,820 | 98.1  |
| コール・ローン等、その他          | 7,150   | 1.9   |
| 投資信託財産総額              | 371,970 | 100.0 |

(注) 比率は投資信託財産総額に対する評価額の割合。

## ★資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年10月25日現在)

| 項目                         | 当期末          |
|----------------------------|--------------|
| (A) 資産                     | 371,970,088円 |
| コール・ローン等                   | 7,149,474    |
| MASAMITSU日本株戦略マザーファンド(評価額) | 364,820,614  |
| (B) 負債                     | 3,175,417    |
| 未払信託報酬                     | 2,176,352    |
| その他未払費用                    | 999,065      |
| (C) 純資産総額(A-B)             | 368,794,671  |
| 元本                         | 357,678,094  |
| 次期繰越損益金                    | 11,116,577   |
| (D) 受益権総口数                 | 357,678,094口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D)            | 10,311円      |

(注1) 当ファンドの期首元本額は300,114,474円、期中追加設定元本額は65,128,957円、期中一部解約元本額は7,565,337円です。

(注2) 1口当たり純資産額は1,0311円です。

(注3) 当運用報告書作成時点では監査未了です。

## ★損益の状況

(2022年10月26日～2023年10月25日)

| 項目             | 当期          |
|----------------|-------------|
| (A) 有価証券売買損益   | 39,237,696円 |
| 売              | 40,085,068  |
| 買              | △ 847,372   |
| (B) 信託報酬等      | △ 6,062,392 |
| (C) 当期損益金(A+B) | 33,175,304  |
| (D) 前期繰越損益金    | △19,659,342 |
| (E) 追加信託差損益金   | △ 2,399,385 |
| (配当等相当額)       | 2,435,094   |
| (売買損益相当額)      | △ 4,834,479 |
| (F) 合計(C+D+E)  | 11,116,577  |
| (G) 収益分配金      | 0           |
| 次期繰越損益金(F+G)   | 11,116,577  |
| 追加信託差損益金       | △ 2,399,385 |
| (配当等相当額)       | 2,535,409   |
| (売買損益相当額)      | △ 4,934,794 |
| 分配準備積立金        | 16,620,660  |
| 繰越損益金          | △ 3,104,698 |

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 当運用報告書作成時点では監査未了です。

(注5) 分配金の計算過程

| 項目                      | 当期           |
|-------------------------|--------------|
| 費用控除後の配当等収益額            | 5,434,702円   |
| 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額 | —            |
| 収益調整金                   | 2,535,409    |
| 分配準備積立金                 | 11,185,958   |
| 当ファンドの分配対象収益額           | 19,156,069   |
| 当ファンドの期末残存口数            | 357,678,094口 |
| 1万口当たり収益分配対象額           | 535.56円      |
| 1万口当たり分配金額              | —            |
| 収益分配金金額                 | —            |

## ★分配金のお知らせ

| 決算期              | 第3期 |
|------------------|-----|
| 1 万口当たり分配金 (税込み) | 0円  |

### ◇分配金をお支払いする場合

- ・分配金は原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始します。

### ◇分配金を再投資する場合

- ・お手持り分配金は、決算日の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたします。

### ◇課税上の取扱について

- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、分配金は全額普通分配金となります。
- ・分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。
- ・分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合は、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

### ◇受益者別の普通分配金に対する課税について

- ・個人の受益者：2014年1月1日以降は20.315%の税率
- ・法人の受益者：個人の受益者とは異なります。
- ・収益分配金のうち課税対象となるのは普通分配金のみであり、元本払戻金（特別分配金）は課税されません。

税制改正等により、課税上の取扱い内容が変更になる場合があります。  
課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家にご確認ください。

## ★お知らせ

該当事項はございません。

# MASAMITSU日本株戦略マザーファンド

第9期運用報告書 [決算日 2023年10月25日]

[計算期間 2022年10月26日～2023年10月25日]

「MASAMITSU日本株戦略マザーファンド」は、2023年10月25日に第9期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

|        |   |
|--------|---|
| 信託期間   | 信託期間は2014年11月27日から無期限です。  |
| 運用方針   | わが国の金融商品取引所上場株式を投資対象とし、国内外のマクロ分析及び重要イベントの予測を通じて投資テーマを設定し、そのテーマに合致する企業への投資を重視し、信託財産の中長期的な成長を目指します。 |
| 主要投資対象 | わが国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。   |
| 組入制限   | 株式への投資割合には制限を設けません。   |

[運用報告書の表記について]

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率および騰落率は小数点第2位または小数点第2位未満を四捨五入しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値について小数表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

### ★最近5期の運用実績

| 決算期              | 基準価額   |       | 参考指数     |       | 株式組入比率 | 株式先物オプション組入比率 | 投資証券組入比率 | 純資産総額  |
|------------------|--------|-------|----------|-------|--------|---------------|----------|--------|
|                  |        | 期中騰落率 |          | 期中騰落率 |        |               |          |        |
|                  | 円      | %     |          | %     | %      | %             | %        | 百万円    |
| 第5期(2019年10月25日) | 20,044 | 9.7   | 1,648.44 | 3.0   | 96.2   | —             | —        | 3,216  |
| 第6期(2020年10月26日) | 23,728 | 18.4  | 1,618.98 | △ 1.8 | 92.9   | —             | —        | 7,948  |
| 第7期(2021年10月25日) | 29,415 | 24.0  | 1,995.42 | 23.3  | 96.8   | —             | —        | 14,517 |
| 第8期(2022年10月25日) | 26,898 | △ 8.6 | 1,907.14 | △ 4.4 | 97.3   | 0.0           | —        | 11,572 |
| 第9期(2023年10月25日) | 30,294 | 12.6  | 2,254.40 | 18.2  | 96.6   | —             | —        | 8,486  |

(注) 株式先物オプション組入比率は買建比率－売建比率

### ★当期中の基準価額と市況等の推移

| 年月日              | 基準価額   |       | 参考指数     |       | 株式組入比率 | 株式先物オプション組入比率 | 投資証券組入比率 |
|------------------|--------|-------|----------|-------|--------|---------------|----------|
|                  |        | 騰落率   |          | 騰落率   |        |               |          |
|                  | 円      | %     |          | %     | %      | %             | %        |
| (期首) 2022年10月25日 | 26,898 | —     | 1,907.14 | —     | 97.3   | 0.0           | —        |
| 10月末             | 27,248 | 1.3   | 1,929.43 | 1.2   | 96.4   | 0.0           | —        |
| 11月末             | 27,949 | 3.9   | 1,985.57 | 4.1   | 97.4   | 0.0           | —        |
| 12月末             | 26,748 | △ 0.6 | 1,891.71 | △ 0.8 | 97.0   | —             | —        |
| 2023年1月末         | 27,646 | 2.8   | 1,975.27 | 3.6   | 97.6   | —             | —        |
| 2月末              | 27,859 | 3.6   | 1,993.28 | 4.5   | 97.9   | —             | —        |
| 3月末              | 28,401 | 5.6   | 2,003.50 | 5.1   | 95.9   | —             | —        |
| 4月末              | 28,715 | 6.8   | 2,057.48 | 7.9   | 97.0   | —             | —        |
| 5月末              | 29,486 | 9.6   | 2,130.63 | 11.7  | 97.0   | —             | —        |
| 6月末              | 31,952 | 18.8  | 2,288.60 | 20.0  | 97.7   | —             | —        |
| 7月末              | 32,253 | 19.9  | 2,322.56 | 21.8  | 97.8   | —             | —        |
| 8月末              | 32,215 | 19.8  | 2,332.00 | 22.3  | 97.4   | —             | —        |
| 9月末              | 31,418 | 16.8  | 2,323.39 | 21.8  | 96.6   | —             | —        |
| (期末) 2023年10月25日 | 30,294 | 12.6  | 2,254.40 | 18.2  | 96.6   | —             | —        |

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 株式先物オプション組入比率は買建比率－売建比率

参考指数はTOPIX(東証株価指数)です。

TOPIX(東証株価指数)とは、株式会社JPX総研(以下「JPX」)が算出、公表する指数で、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数は、JPXの知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関する全ての権利は、JPXが有しております。なお、JPXは、ファンドの設定又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。



## ★運用概況および今後の運用方針

### ☆運用概況

#### 1. 基準価額の推移

当ファンドの基準価額は、期初26,898円から期末は30,294円となり、3,396円下落し+12.63%の上昇率となりました。

#### 2. 運用の概況

当ファンドは、主として、わが国の金融商品取引所上場株式を投資対象とし、国内外のマクロ分析及び重要イベントの予測を通じて投資テーマを設定し、そのテーマに合致する企業への投資を重視しました。銘柄の選定においては、成長性、収益性、安定性を網羅したボトムアップリサーチに基づき、個々の企業の信用力、経営力、成長力を重視し選定しました。株式の組入比率は、通常の状態では原則として高位を基本としました。ボトムアップリサーチによる個別企業分析を通じ、ファンドサイズに応じた最適な投資銘柄を選定した株式に投資を行い、全セクターを広く投資対象とする一方で、金融・不動産セクターを最重要セクターと位置づけ、個別銘柄投資の成果を享受できるようにポートフォリオを構築しています。当期においては、投資対象を特定のテーマや業種などに限定せず、また、バリュー株（割安株）やグロース株（成長株）のいずれも幅広く投資対象として運用を行いました。中長期投資を主眼としながらも、短期的な投資リターンを極大化という観点を取り入れて、株式市況環境を鑑みながら調整を行い、銘柄選択や銘柄入替を機動的に行いました。

#### ○基準価額の推移



## ☆市況概況

(期初2022年10月26日～期末2023年10月25日)

本ファンドの期末には日経平均株価指数は31,269.92円となり、期初前日の27,250.28円と比較して、+4,019.64円上昇し+14.75%の上昇率となりました。また、同期間のTOPIX（東証株価指数）（配当込み）は、+662.64ポイント上昇し+21.24%の上昇率となりました。一方、同期間の東証マザーズ指数は、-90.27ポイント下落し-12.24%の下落率となりました。

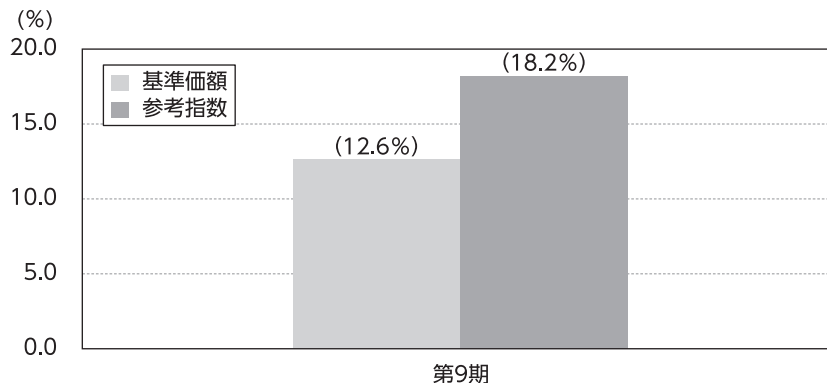
日本株式市場は、11月の月初に開催された米FOMC（連邦公開市場委員会）後のパウエルFRB（米連邦準備制度理事会）議長の会見で、利上げの最終到達点はこれまでの想定よりも高くなるとの見方を示したことを受け、米国債金利が上昇に転じたことなどが重荷となりました。しかし、10日に公表された米国CPI（消費者物価指数）が市場予想を下回ったことで、FRBが利上げペースを減速するとの思惑などから米国債金利が低下し、世界的に株価が上昇する推移となりました。しかし、12月には、FRBが公表した政策金利見通しで、金利はさらに引き上げられ、より長期にわたり高水準に維持されるとの見方を示したことなどが嫌気され、米国株が下落し、世界的に株価は調整色を強める推移となりました。また、日銀が予想外にイールドカーブコントロール（長短金利操作、YCC）政策の調整を発表し、事実上の利上げ政策へ転換するなど、世界的な金利上昇を意識する展開となり、年末にかけて、世界的に株価は下落に転じました。2023年1月年初は、引き続き、各国主要中央銀行が金融引締めスタンスを強める姿勢を継続していることなどで、景気後退懸念を意識する軟調なスタートとなりました。しかし、米国10年債利回りが一時3.3%台前半まで低下したことなどを好感し、米国株は上昇基調に転じました。また、日本市場では、18日の日銀の金融政策決定会合で、一部の市場見通し予想に反して、緩和政策の現状維持が決定されたことなどをを受けて、ドル円相場が一時130円台まで円安に振れたことも追い風となりました。中国のゼロコロナ政策の終了に伴う中国経済の回復期待や中国からのインバウンド需要の回復期待なども好感され、堅調な推移となりました。2月は、月初では米FOMCを受けて、金融引き締めに向かう傾向が見られたことなどから、1月の堅調な流れを引き継ぎ上昇して始まりました。しかし、その後の米経済指標からは物価上昇圧力の根強さを意識させる内容となり、また、FRB高官からのタカ派的な発言などを受け、金融市場では一段の利上げを織り込む向きが進み、米国株が下落したことなどが重荷となりました。しかし、次期日銀総裁の今後の金融政策方針において、現在の金融緩和策を当面続けるとの姿勢を示したことや、米国債利回りの上昇による日米金利差拡大の思惑などから円安が進んだことなどが下支えとなり、底堅い推移となりました。3月に入っても円安が進行し、輸出関連業種への業績期待が強まるなどして上昇しました。しかし、米国の新興企業向けに事業を展開するSVB（シリコン・バレー・バンク）ファイナンシャル・グループ社に続き、シグネチャー・バンク社と、米銀の相次ぐ経営破綻によって、破綻の波が広がることへの警戒感から世界的に株価が急落しました。また、スイスの金融大手クレディ・スイス・グループの経営不安が重なったことも下落に拍車をかけることとなりました。20日には、スイスの銀行大手UBSグループによるクレディ・スイス・グループの買収が合意と伝えられるも、クレディ・スイス・グループが発行する一部の債券（その他ティア1債=AT1債とも呼ばれ、株

式と債券の中間の性質を持った証券のひとつ) 価値がゼロになるとスイス当局が発表したことで、北欧の金融に対する不安感が強まり、下げ幅を拡大する推移となりました。しかし、3月下旬は、スイスの金融大手クレディ・スイス・グループの経営不安や、米銀の相次ぐ経営破綻に対し、スイスの銀行大手UBSグループによるクレディ・スイス・グループの買収発表が迅速に行われたことや、米金融当局が経営不安に陥った金融機関への救済措置を迅速に進めたことなどで、反発する推移となりました。4月も上昇で始まり、大手米銀の決算内容が好調だったこともあり、緩やかに上昇基調を辿りました。また、決算発表を行った米メタ・プラットフォーム社の株価が大幅高となり、大型テック関連株の下期回復期待の高まりなどが追い風となりました。5月は、米債務上限問題の先行き不透明感が相場の重荷となりましたが、半導体市況の回復期待の高まりから、半導体製造装置などハイテク関連株が相場をけん引し、世界的に株価が上昇しました。米国の半導体大手エヌビディア社の好決算を受けて、生成AI（人工知能）が市場の大きなテーマとなり、半導体・同製造装置セクターが堅調に推移し、米債務上限問題を巡る不透明感が後退したことも好感されました。6月も大幅上昇となりました。世界的な金融引き締め長期化懸念が重荷となりましたが、底堅い米経済指標を受けて米景気の楽観的な見方やインフレ鈍化期待などが広がり、衆議院解散の見送りや月後半の年金売り観測などが重荷となるも、米国株の上昇に加え、日銀政策決定会合で金融緩和を継続する現状維持の決定や、円安進行の追い風などをを受けて、堅調な推移となりました。7月に入ると、米国10年債利回りが4ヵ月ぶりに4%台を超えて上昇し、米金融引き締め政策が長期化すると警戒感などにより株価は下落しましたが、6月の米国CPIが市場予想より鈍化したことが好感され、米国の金融引き締め長期化懸念が後退し、上昇に転じました。8月上旬では、フィッチ（格付け会社フィッチ・レーティングス）が米国債格付けを引き下げたことや、下旬に予定されているジャクソンホール会議でのパウエルFRB議長の発言への警戒感が高まったこともあり、上値の重い展開となりました。下旬には、ジャクソンホール会議でのパウエルFRB議長の講演内容がおおよそ想定内との印象を市場に与え、また、米国の経済指標が軟調だったことから、FRBの金融引き締め政策継続の観測が後退して米国債金利の上昇の勢いが止まり、米国株の上昇を受けて、上昇しました。9月も堅調を維持して、中旬にかけて、市場で警戒された8月の米国CPIの発表を大きな波乱なく通過し、米国の金融引き締め長期化への過度な警戒感が和らいだことなどをを受けて、半導体製造装置や電子部品の関連株が相場の上昇をけん引しました。しかし、中旬以降は、米FOMCにおいて政策金利は据え置かれたものの、2024年以降の利下げペース鈍化の可能性が高まったことを受け、欧米金利が上昇傾向を強めたことから、株価は世界的に下落に転じました。10月も続落し、米国金利が更に上昇を続ける中、中国経済への懸念や中東情勢の緊迫化などが加わり、当期末にかけて、下落幅を拡げる推移となりました。

## ☆ベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



## ★今後の運用方針

当ファンドは、今後も従来の運用方針を継続します。主として、わが国の金融商品取引所上場株式を投資対象とし、国内外のマクロ分析及び重要イベントの予測を通じて投資テーマを設定し、そのテーマに合致する企業への投資を重視します。銘柄の選定においては、成長性、収益性、安定性を網羅したボトムアップリサーチに基づき、個々の企業の信用力、経営力、成長力を重視し選定します。株式の組入比率は、通常の状態では原則として高位を基本とします。中長期投資を主眼としながらも、短期的な投資リターンを極大化という観点も取り入れた運用を心がけ、銘柄選択や銘柄入れ替えを機動的に行います。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

## ★1 万口当たりの費用明細

| 項目  | 第9期   |  | 項目の概要   |
|---|---|--|---|
|   | (2022年10月26日～2023年10月25日)                       |  |   |
|   | 金額 (円)  | 比率 (%)   |   |
| (a) 売買委託手数料<br>(株式)<br>(投資証券)<br>(新株予約権証券)<br>(先物オプション)<br>(信用)<br>(投資信託受益証券) | 210<br>(209)<br>(-)<br>(-)<br>(1)<br>(-)<br>(-) | 0.71<br>(0.71)<br>(-)<br>(-)<br>(0.00)<br>(-)<br>(-) | (a) 売買委託手数料 = $\frac{\text{[期中の売買委託手数料]}}{\text{[期中の平均受益権口数]}} \times 10,000$<br>売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料   |
| (b) 有価証券取引税<br>(株式)<br>(投資証券)<br>(新株予約権証券)<br>(先物オプション)<br>(信用)<br>(投資信託受益証券) | -<br>(-)<br>(-)<br>(-)<br>(-)<br>(-)            | -<br>(-)<br>(-)<br>(-)<br>(-)<br>(-)                 | (b) 有価証券取引税 = $\frac{\text{[期中の有価証券取引税]}}{\text{[期中の平均受益権口数]}} \times 10,000$<br>有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金  |
| (c) その他費用<br>(保管費用)<br>(監査費用)<br>(印刷費用)<br>(信用取引)<br>(その他)                    | 1<br>(-)<br>(-)<br>(-)<br>(-)<br>(1)            | 0.00<br>(-)<br>(-)<br>(-)<br>(-)<br>(0.00)           | (c) その他費用 = $\frac{\text{[期中のその他費用]}}{\text{[期中の平均受益権口数]}} \times 10,000$<br>保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用<br>監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用<br>印刷費用は、交付運用報告書等の作成・印刷・送付に係る費用、及び信託財産計理業務に係る費用<br>信用取引は、信用取引に係る品貸料、未払配当金等<br>その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料 |
| 合計  | 211   | 0.71   |   |

(注1) 期中の費用（消費税にかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（29,324円）で除して100を乗じたものです。

★売買及び取引の状況（2022年10月26日～2023年10月25日）

(1) 株式

|    |    | 買付      |            | 売付     |            |
|----|----|---------|------------|--------|------------|
|    |    | 株数      | 金額         | 株数     | 金額         |
| 国内 | 上場 | 千株      | 千円         | 千株     | 千円         |
|    |    | 14,833  | 32,314,014 | 17,216 | 36,606,643 |
|    |    | (1,064) | (-)        | (3)    | (-)        |

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 括弧内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(2) 先物取引の種類別取引状況

| 種類別 |      | 買建    |     | 売建    |     |
|-----|------|-------|-----|-------|-----|
|     |      | 新規買付額 | 決済額 | 新規売付額 | 決済額 |
| 国内  | 株式先物 | 百万円   | 百万円 | 百万円   | 百万円 |
|     |      | 455   | 457 | -     | -   |

(注) 金額は受渡代金。

(3) オプションの種類別取引状況

| 種類別 |      | コール・<br>プット別 | 買建        |     |          |          | 売建        |     |           |          |
|-----|------|--------------|-----------|-----|----------|----------|-----------|-----|-----------|----------|
|     |      |              | 新規<br>買付額 | 決済額 | 権利<br>行使 | 権利<br>放棄 | 新規<br>売付額 | 決済額 | 権利<br>被行使 | 義務<br>消滅 |
| 国内  | 株式指数 | プット          | 百万円       | 百万円 | 百万円      | 百万円      | 百万円       | 百万円 | 百万円       | 百万円      |
|     |      |              | 8         | -   | -        | 13       | -         | -   | -         | -        |

(注) 金額は受渡代金。

★株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項目                | 当期           |
|-------------------|--------------|
| (a) 期中の株式売買金額     | 68,920,658千円 |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額 | 10,174,482千円 |
| (c) 売買高比率(a)／(b)  | 6.77%        |

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

★利害関係人との取引状況等（2022年10月26日～2023年10月25日）

(1) 利害関係人との取引状況

| 区分 | 当期        |                    |     |        |           |                    |     |
|----|-----------|--------------------|-----|--------|-----------|--------------------|-----|
|    | 買付額等<br>A | うち利害関係人<br>との取引状況B |     | B<br>A | 売付額等<br>C | うち利害関係人<br>との取引状況D |     |
|    |           | 百万円                | 百万円 |        |           | %                  | 百万円 |
| 株式 | 32,314    | 214                | 0.6 | 36,606 | 286       | 0.7                |     |

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

| 項目               | 当期       |
|------------------|----------|
| 売買委託手数料総額 (A)    | 75,600千円 |
| うち利害関係人への支払額 (B) | 826千円    |
| (B) / (A)        | 1.1%     |

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは日産証券です。

★主要な売買銘柄（2022年10月26日～2023年10月25日）

(1) 株式

| 当期                |       |         |       |                   |       |         |        |
|-------------------|-------|---------|-------|-------------------|-------|---------|--------|
| 買付                |       |         |       | 売付                |       |         |        |
| 銘柄                | 株数    | 金額      | 平均単価  | 銘柄                | 株数    | 金額      | 平均単価   |
|                   | 千株    | 千円      | 円     |                   | 千株    | 千円      | 円      |
| 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 749.0 | 641,599 | 856   | 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 704.0 | 617,738 | 877    |
| ソフトバンクグループ        | 102.4 | 606,731 | 5,925 | ソフトバンクグループ        | 98.9  | 612,784 | 6,195  |
| 三井住友フィナンシャルグループ   | 107.5 | 570,167 | 5,303 | 三井住友フィナンシャルグループ   | 103.0 | 561,679 | 5,453  |
| チェンジホールディングス      | 202.4 | 451,180 | 2,229 | M&A総研ホールディングス     | 83.0  | 511,682 | 6,164  |
| 円谷フィールドズホールディングス  | 143.6 | 330,973 | 2,304 | 円谷フィールドズホールディングス  | 196.0 | 461,584 | 2,355  |
| M&A総研ホールディングス     | 54.0  | 327,796 | 6,070 | SREホールディングス       | 118.6 | 420,344 | 3,544  |
| 東京海上ホールディングス      | 110.0 | 323,091 | 2,937 | チェンジホールディングス      | 182.4 | 381,675 | 2,092  |
| イビデン              | 54.3  | 319,978 | 5,892 | レーザーテック           | 16.9  | 377,722 | 22,350 |
| ふくおかフィナンシャルグループ   | 104.5 | 303,142 | 2,900 | マネーフォワード          | 74.0  | 343,860 | 4,646  |
| SREホールディングス       | 85.0  | 301,668 | 3,549 | 東京海上ホールディングス      | 111.3 | 336,337 | 3,021  |

(注) 金額は受渡代金。

## (2) 先物取引の銘柄別取引状況

| 銘柄別  |         | 買建        |           | 売建       |          |
|------|---------|-----------|-----------|----------|----------|
|      |         | 新規買付額     | 決済額       | 新規売付額    | 決済額      |
| 国内株式 | 日経225先物 | 百万円<br>98 | 百万円<br>98 | 百万円<br>- | 百万円<br>- |
|      | TOPIX先物 | 357       | 358       | -        | -        |

## (3) オプションの銘柄別取引状況

| 銘柄別  |         | コール・<br>プット別 | 買建        |          |          |           | 売建        |          |           |          |
|------|---------|--------------|-----------|----------|----------|-----------|-----------|----------|-----------|----------|
|      |         |              | 新規<br>買付額 | 決済額      | 権利<br>行使 | 権利<br>放棄  | 新規<br>売付額 | 決済額      | 権利<br>被行使 | 義務<br>消滅 |
| 国内株式 | 日経225先物 | プット          | 百万円<br>8  | 百万円<br>- | 百万円<br>- | 百万円<br>13 | 百万円<br>-  | 百万円<br>- | 百万円<br>-  | 百万円<br>- |



★組入資産の明細（2023年10月25日現在）

国内株式

| 銘柄                   | 前期末  | 当期末  |        |
|----------------------|------|------|--------|
|                      | 株数   | 株数   | 評価額    |
|                      | 千株   | 千株   | 千円     |
| <b>鉱業 (0.7%)</b>     |      |      |        |
| K&Oエナジーグループ          | —    | 22.5 | 54,247 |
| <b>建設業 (3.1%)</b>    |      |      |        |
| ウエストホールディングス         | 20   | —    | —      |
| 大林組                  | —    | 30   | 37,710 |
| 鹿島建設                 | —    | 27   | 65,380 |
| 東亜建設工業               | —    | 6    | 21,840 |
| 五洋建設                 | —    | 40   | 33,720 |
| 大和ハウス工業              | —    | 6    | 24,186 |
| 九電工                  | —    | 5.4  | 23,959 |
| 日揮ホールディングス           | 42   | —    | —      |
| 明星工業                 | 20   | —    | —      |
| 大気社                  | —    | 10.8 | 46,872 |
| <b>食料品 (5.0%)</b>    |      |      |        |
| 森永製菓                 | —    | 13   | 68,445 |
| 亀田製菓                 | 4    | —    | —      |
| 寿スピリッツ               | —    | 27   | 53,757 |
| カルビー                 | 21   | —    | —      |
| アサヒグループホールディングス      | —    | 7.7  | 41,248 |
| ライフドリンク カンパニー        | 7.5  | —    | —      |
| キッコーマン               | 2    | 5    | 41,285 |
| 味の素                  | 7.5  | 15.3 | 85,817 |
| ニチレイ                 | 12.5 | —    | —      |
| 東洋水産                 | 7.2  | 4    | 25,356 |
| ヨシムラ・フード・ホールディングス    | —    | 75   | 76,125 |
| 日清食品ホールディングス         | 5    | —    | —      |
| ファーマフーズ              | 27   | —    | —      |
| ジェイフロンティア            | 13   | 4.1  | 16,851 |
| <b>繊維製品 (1.3%)</b>   |      |      |        |
| グンゼ                  | —    | 3.5  | 15,610 |
| 東レ                   | 80   | —    | —      |
| セーレン                 | 12   | —    | —      |
| ワコールホールディングス         | 15   | —    | —      |
| ワールド                 | 17.4 | —    | —      |
| ゴールドウイン              | 12   | 7    | 67,662 |
| デサント                 | 5    | 6.3  | 27,121 |
| <b>化学 (4.1%)</b>     |      |      |        |
| クラレ                  | —    | 30   | 51,060 |
| レゾナック・ホールディングス       | —    | 6    | 14,775 |
| 日産化学                 | 4.5  | —    | —      |
| 信越化学工業               | 3    | —    | —      |
| 日本酸素ホールディングス         | 6.8  | —    | —      |
| 伊勢化学工業               | —    | 8.1  | 68,850 |
| 三菱瓦斯化学               | 23   | 9    | 17,973 |
| 東京応化工業               | 3    | —    | —      |
| ウルトラファブリックス・ホールディングス | 3    | —    | —      |
| 恵和                   | —    | 20   | 26,780 |
| トリケミカル研究所            | —    | 16.6 | 54,282 |
| ADEKA                | 10   | 8    | 20,416 |

| 銘柄                   | 前期末  | 当期末  |        |
|----------------------|------|------|--------|
|                      | 株数   | 株数   | 評価額    |
|                      | 千株   | 千株   | 千円     |
| 花王                   | —    | 5.4  | 29,694 |
| 関西ペイント               | —    | 23.4 | 52,474 |
| アルマード                | 20   | —    | —      |
| 東洋合成工業               | 3.5  | —    | —      |
| OATアグリオ              | 6    | —    | —      |
| クミアイ化学工業             | 20   | —    | —      |
| <b>医薬品 (—%)</b>      |      |      |        |
| 協和キリン                | 12.5 | —    | —      |
| エーザイ                 | 5    | —    | —      |
| 坪田ラボ                 | 10   | —    | —      |
| <b>ゴム製品 (0.5%)</b>   |      |      |        |
| TOYO TIRE            | —    | 20   | 45,000 |
| <b>ガラス・土石製品 (—%)</b> |      |      |        |
| TOTO                 | 5.5  | —    | —      |
| <b>鉄鋼 (0.2%)</b>     |      |      |        |
| 日本製鉄                 | —    | 6.1  | 19,562 |
| <b>非鉄金属 (0.6%)</b>   |      |      |        |
| SWCC                 | 17.8 | 18   | 36,450 |
| リョービ                 | —    | 4.5  | 12,190 |
| <b>機械 (10.4%)</b>    |      |      |        |
| 日本製鋼所                | 10   | 13.5 | 33,608 |
| オークマ                 | 12   | 4    | 25,644 |
| 芝浦機械                 | 15   | —    | —      |
| アマダ                  | —    | 31   | 45,182 |
| 牧野フライス製作所            | 5    | —    | —      |
| 旭ダイヤモンド工業            | —    | 2.7  | 2,238  |
| DMG森精機               | 30   | 19.1 | 47,444 |
| ジェイスコ                | 1    | 2.7  | 76,977 |
| AIメカテック              | —    | 10   | 41,500 |
| ACSL                 | 6.6  | —    | —      |
| ゲームカード・ジョイコホールディングス  | —    | 10   | 32,800 |
| タツモ                  | 27.5 | 7.8  | 24,180 |
| SMC                  | 1.7  | 0.8  | 56,128 |
| ユニオンツール              | —    | 5.4  | 19,710 |
| 技研製作所                | 7    | —    | —      |
| 小松製作所                | 30   | 6.5  | 24,323 |
| 日立建機                 | —    | 10   | 41,520 |
| ローツェ                 | 10   | 4    | 47,520 |
| ハーモニック・ドライブ・システムズ    | 7.5  | —    | —      |
| クボタ                  | 28   | —    | —      |
| ダイキン工業               | 4.6  | —    | —      |
| CKD                  | 33.7 | 4    | 8,012  |
| 平和                   | 19.2 | —    | —      |
| ダイコク電機               | —    | 5    | 22,325 |
| 竹内製作所                | 10   | 10   | 45,200 |
| セガサミーホールディングス        | 40   | —    | —      |
| ホンザキ                 | 15   | 11.7 | 56,815 |
| NTN                  | 210  | —    | —      |
| ジェイテクト               | —    | 20   | 25,760 |

| 銘柄                    | 前期末  | 当期末  |         |
|-----------------------|------|------|---------|
|                       | 株数   | 株数   | 評価額     |
|                       | 千株   | 千株   | 千円      |
| 日本ビラー工業               | —    | 7.5  | 27,637  |
| 三菱重工業                 | 11   | 18.9 | 151,332 |
| I H I                 | 24   | —    | —       |
| <b>電気機器 (9.0%)</b>    |      |      |         |
| イビデン                  | —    | 3    | 22,494  |
| 日立製作所                 | —    | 3.1  | 27,214  |
| 富士電機                  | 15.2 | 5.2  | 32,094  |
| 安川電機                  | 14   | —    | —       |
| シンフォニアテクノロジー          | 14   | 10.9 | 16,698  |
| 湖北工業                  | 6    | —    | —       |
| KOKUSAI ELECTRIC      | —    | 0.9  | 2,115   |
| ソシオネクスト               | 4.8  | 2    | 30,160  |
| 芝浦メカトロニクス             | —    | 7    | 47,810  |
| HPCシステムズ              | 24   | —    | —       |
| シキノハイテック              | 0.1  | —    | —       |
| テラプローブ                | —    | 3.9  | 18,427  |
| ダイヤモンドエレクトリックホールディングス | 57.5 | —    | —       |
| ルネサスエレクトロニクス          | 85   | 45   | 98,167  |
| アルバック                 | 12   | —    | —       |
| アクセル                  | —    | 5.4  | 9,946   |
| ソニーグループ               | 10   | 6.3  | 79,380  |
| TDK                   | 12   | —    | —       |
| ヒロセ電機                 | 3.2  | —    | —       |
| TOA                   | 60   | 21   | 22,029  |
| アイコム                  | —    | 2    | 6,990   |
| アドバンテクト               | —    | 7    | 29,946  |
| キーエンス                 | 2.2  | 0.9  | 47,961  |
| 日本マイクロニクス             | —    | 11.4 | 27,223  |
| アパールデータ               | —    | 4.1  | 24,805  |
| レーザーテック               | 5    | 1    | 25,705  |
| 日本アビオニクス              | —    | 3.6  | 21,600  |
| 日本電子                  | 12   | —    | —       |
| ファナック                 | 3    | —    | —       |
| 芝浦電子                  | 2.2  | —    | —       |
| エンブラス                 | —    | 5.1  | 51,000  |
| ローム                   | 5.2  | —    | —       |
| 浜松ホトニクス               | 20.8 | 5    | 28,935  |
| 三井ハイテック               | 10   | —    | —       |
| 新光電気工業                | 17   | 2.7  | 15,222  |
| 村田製作所                 | 5.5  | —    | —       |
| 指月電機製作所               | 11.9 | 9.3  | 4,110   |
| SCREENホールディングス        | 7    | —    | —       |
| 東京エレクトロン              | 2.5  | 2.5  | 50,912  |
| <b>輸送用機器 (3.6%)</b>   |      |      |         |
| ダイハツディーゼル             | 40   | —    | —       |
| デンソー                  | 7.5  | 30   | 69,225  |
| 川崎重工業                 | —    | 6.1  | 20,733  |
| 名村造船所                 | 44   | —    | —       |
| いすゞ自動車                | 92.5 | —    | —       |
| トヨタ自動車                | 20   | 34   | 89,760  |
| 新明和工業                 | 10   | —    | —       |
| 本田技研工業                | —    | 30   | 48,615  |
| スズキ                   | 25   | 10.9 | 63,666  |

| 銘柄                   | 前期末  | 当期末  |        |
|----------------------|------|------|--------|
|                      | 株数   | 株数   | 評価額    |
|                      | 千株   | 千株   | 千円     |
| <b>精密機器 (0.1%)</b>   |      |      |        |
| テルモ                  | 9.4  | —    | —      |
| オリンパス                | 30   | —    | —      |
| HOYA                 | 8    | —    | —      |
| 朝日インテック              | —    | 3    | 7,650  |
| メニコン                 | 12   | —    | —      |
| <b>その他製品 (2.0%)</b>  |      |      |        |
| ブシロード                | 65   | —    | —      |
| 壽屋                   | 2    | —    | —      |
| トランザクション             | 7    | 35.9 | 67,456 |
| パンダイナムホールディングス       | 4    | 10   | 31,020 |
| ヨネックス                | 35   | —    | —      |
| TOPPANホールディングス       | —    | 4    | 13,476 |
| アシックス                | —    | 6    | 28,152 |
| ヤマハ                  | 5    | —    | —      |
| リンテック                | —    | 0.9  | 2,259  |
| 任天堂                  | —    | 3.6  | 22,248 |
| <b>電気・ガス業 (0.4%)</b> |      |      |        |
| 関西電力                 | —    | 5.6  | 10,914 |
| リニューアブル・ジャパン         | 70   | 30   | 24,810 |
| <b>陸運業 (2.7%)</b>    |      |      |        |
| 東武鉄道                 | 24   | 9    | 31,968 |
| 東急                   | —    | 18   | 29,736 |
| 京成電鉄                 | —    | 6    | 32,556 |
| 東日本旅客鉄道              | 7    | 5.5  | 42,350 |
| 西日本旅客鉄道              | 3.3  | 7    | 39,410 |
| 東海旅客鉄道               | 4    | 6.8  | 22,671 |
| 西武ホールディングス           | —    | 17.2 | 24,879 |
| センコーグループホールディングス     | 25   | —    | —      |
| <b>空運業 (-%)</b>      |      |      |        |
| 日本航空                 | 25   | —    | —      |
| ANAホールディングス          | 22   | —    | —      |
| <b>情報・通信業 (6.9%)</b> |      |      |        |
| エムアップホールディングス        | 20   | 30   | 36,120 |
| ブロードリーフ              | —    | 10   | 5,200  |
| クロス・マーケティンググループ      | 110  | —    | —      |
| セック                  | 2    | 1.6  | 5,712  |
| テクマトリックス             | 10   | —    | —      |
| GMOペイメントゲートウェイ       | 5    | —    | —      |
| アステリア                | 40   | —    | —      |
| カナミックネットワーク          | 0.4  | 0.4  | 183    |
| チェンジホールディングス         | —    | 20   | 29,560 |
| マネーフォワード             | 22   | —    | —      |
| GMOフィナンシャルゲート        | 4    | —    | —      |
| Sun Asterisk         | 75   | —    | —      |
| ラキール                 | 5    | —    | —      |
| ビジョナル                | 12.6 | 2.1  | 14,259 |
| エクサウィザーズ             | 200  | —    | —      |
| シンプレクス・ホールディングス      | 22   | 7.8  | 20,178 |
| ワンキャリア               | 46   | 10.4 | 35,204 |
| メルカリ                 | —    | 4.9  | 15,175 |
| ギフティ                 | 11.3 | 18   | 23,940 |
| JMDC                 | 7.5  | —    | —      |

| 銘柄                   | 前期末  | 当期末  |        |
|----------------------|------|------|--------|
|                      | 株数   | 株数   | 評価額    |
|                      | 千株   | 千株   | 千円     |
| ペイロール                | —    | 2.5  | 2,715  |
| オービックビジネスコンサルタント     | —    | 7.2  | 43,200 |
| ドリーム・アーツ             | —    | 0.3  | 798    |
| 電通国際情報サービス           | 8.2  | 4.4  | 22,528 |
| 東映アニメーション            | 2.5  | 2.9  | 38,164 |
| ウエザーニューズ             | 5    | —    | —      |
| ANYCOLOR             | 8    | 3.9  | 13,026 |
| unerry               | 0.4  | —    | —      |
| eWeLL                | 0.2  | —    | —      |
| リンカーズ                | 8.2  | —    | —      |
| pluszero             | 0.3  | —    | —      |
| IMAGICA GROUP        | 24.3 | —    | —      |
| スカパーJ SATホールディングス    | 180  | 21   | 14,469 |
| テレビ東京ホールディングス        | —    | 10   | 28,150 |
| USEN-NEXT HOLDINGS   | 20   | —    | —      |
| 日本電信電話               | 30   | 513  | 89,672 |
| KADOKAWA             | 32   | 5.7  | 16,920 |
| 松竹                   | 5.7  | —    | —      |
| 東宝                   | 5    | 5    | 24,590 |
| NTTデータグループ           | 25   | —    | —      |
| スクウェア・エニックス・ホールディングス | 5.5  | —    | —      |
| カプコン                 | 9    | —    | —      |
| ソフトバンクグループ           | 10   | 13.5 | 85,144 |
| <b>卸売業 (9.2%)</b>    |      |      |        |
| 伊藤忠食品                | —    | 3    | 19,950 |
| あらた                  | —    | 5.4  | 28,998 |
| 円谷フィールズホールディングス      | 40   | 40   | 66,880 |
| 神戸物産                 | 5    | —    | —      |
| あい ホールディングス          | 50   | 5.3  | 12,179 |
| コメダホールディングス          | 33   | —    | —      |
| 三菱食品                 | —    | 12.6 | 49,077 |
| 第一興商                 | 14.8 | 6.8  | 15,072 |
| 九文                   | —    | 8.1  | 9,080  |
| 伊藤忠商事                | —    | 9    | 48,438 |
| 豊田通商                 | —    | 4    | 32,120 |
| 三井物産                 | 16   | 15.3 | 83,048 |
| 住友商事                 | 16.5 | 27.9 | 82,346 |
| 三菱商事                 | 14   | 12.6 | 88,401 |
| キャノンマーケティングジャパン      | 15   | 11.7 | 44,530 |
| サンリオ                 | 16   | 9    | 58,446 |
| モスフードサービス            | 4.2  | 3.3  | 10,642 |
| 西本Wismettacホールディングス  | —    | 10   | 56,500 |
| パリュエンスホールディングス       | 4.4  | —    | —      |
| トラスコ中山               | —    | 20   | 45,880 |
| <b>小売業 (10.9%)</b>   |      |      |        |
| カネ美食品                | —    | 2.7  | 8,127  |
| エービーシー・マート           | 15   | 8.4  | 19,941 |
| ゲオホールディングス           | 17   | —    | —      |
| アダストリア               | 17   | 10   | 30,950 |
| バルグループホールディングス       | —    | 10   | 18,710 |
| ハニーズホールディングス         | —    | 20   | 30,220 |
| RIZAPグループ            | —    | 50.6 | 15,078 |
| MonotaRO             | 27   | —    | —      |

| 銘柄                          | 前期末  | 当期末  |        |
|-----------------------------|------|------|--------|
|                             | 株数   | 株数   | 評価額    |
|                             | 千株   | 千株   | 千円     |
| ドトール・日レスホールディングス            | —    | 2.4  | 5,229  |
| マツキヨココカラ&カンパニー              | —    | 7.2  | 18,612 |
| トレジャー・ファクトリー                | —    | 25   | 27,575 |
| 物語コーポレーション                  | 11   | 5.1  | 20,145 |
| 三越伊勢丹ホールディングス               | 113  | 27   | 44,428 |
| シュッピン                       | 25   | —    | —      |
| 鳥貴族ホールディングス                 | 30   | —    | —      |
| ヨシックスホールディングス               | 13   | —    | —      |
| BEENOS                      | 17.9 | —    | —      |
| トリドールホールディングス               | 10   | 4.9  | 17,223 |
| TOKYO BASE                  | 48   | 23.4 | 6,739  |
| HYUGA PRIMARY CARE          | 2.2  | —    | —      |
| 良品計画                        | 25   | 36   | 72,972 |
| パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス | 10   | 15   | 42,360 |
| 西松屋チェーン                     | —    | 28.1 | 53,558 |
| ゼンショーホールディングス               | —    | 3.2  | 24,076 |
| ワークマン                       | 2    | —    | —      |
| サイゼリヤ                       | 20   | 6.8  | 41,140 |
| ユナイテッドアローズ                  | —    | 15   | 28,395 |
| ロイヤルホールディングス                | 40   | 24.3 | 60,191 |
| しまむら                        | —    | 3    | 44,355 |
| 高島屋                         | 46.5 | 9    | 18,144 |
| 松屋                          | 76   | 32.4 | 28,609 |
| エイチ・ツー・オー リテイリング            | 26.5 | —    | —      |
| イズミ                         | —    | 18   | 68,526 |
| ヤオコー                        | —    | 7.8  | 59,420 |
| ブックオフグループホールディングス           | 30   | —    | —      |
| ギフトホールディングス                 | 6.1  | 10   | 21,310 |
| ニトリホールディングス                 | —    | 1.6  | 25,472 |
| ファーストリテイリング                 | 0.5  | 1.3  | 44,213 |
| <b>銀行業 (8.8%)</b>           |      |      |        |
| いよぎんホールディングス                | 30   | 54   | 56,808 |
| 京都フィナンシャルグループ               | —    | 3.3  | 28,878 |
| めぶきフィナンシャルグループ              | —    | 117  | 50,836 |
| 九州フィナンシャルグループ               | —    | 45   | 39,748 |
| コンコルディア・フィナンシャルグループ         | —    | 29   | 19,981 |
| 北國フィナンシャルホールディングス           | 8    | —    | —      |
| 三菱UFJフィナンシャル・グループ           | —    | 45   | 55,732 |
| りそなホールディングス                 | —    | 81.7 | 64,583 |
| 三井住友フィナンシャルグループ             | —    | 4.5  | 32,422 |
| 千葉銀行                        | 42   | 45   | 48,802 |
| 岩手銀行                        | 2    | —    | —      |
| ふくおかフィナンシャルグループ             | 20   | 24.3 | 92,655 |
| 八十二銀行                       | 65   | 45   | 37,440 |
| 山梨中央銀行                      | —    | 9    | 16,020 |
| 滋賀銀行                        | 8.9  | 4.5  | 16,807 |
| 紀陽銀行                        | —    | 27   | 39,933 |
| ほくほくフィナンシャルグループ             | —    | 18   | 29,610 |
| みずほフィナンシャルグループ              | —    | 18   | 45,567 |
| 山口フィナンシャルグループ               | —    | 36   | 47,340 |
| 愛媛銀行                        | 9.2  | —    | —      |
| <b>証券・商品先物取引業 (0.9%)</b>    |      |      |        |
| SBIリーディングサービス               | 6.9  | —    | —      |

| 銘柄                   | 前期末  | 当期末  |         |
|----------------------|------|------|---------|
|                      | 株数   | 株数   | 評価額     |
|                      | 千株   | 千株   | 千円      |
| F P G                | 22   | 18   | 23,310  |
| ジャパンインベストメントアドバイザー   | —    | 30   | 48,540  |
| <b>保険業 (2.6%)</b>    |      |      |         |
| F P パートナー            | 0.1  | 15.5 | 66,727  |
| アニコム ホールディングス        | —    | 27   | 14,715  |
| 第一生命ホールディングス         | 10   | 14.4 | 44,208  |
| 東京海上ホールディングス         | 13   | 11.7 | 38,914  |
| T & Dホールディングス        | —    | 18   | 44,964  |
| <b>その他金融業 (3.4%)</b> |      |      |         |
| 全保連                  | —    | 13.1 | 7,270   |
| 東京センチュリー             | —    | 15.3 | 87,240  |
| アイフル                 | —    | 120  | 45,240  |
| アコム                  | 87.5 | —    | —       |
| ジャックス                | 13.6 | 10.7 | 54,463  |
| オリックス                | —    | 15.6 | 42,268  |
| 日本取引所グループ            | —    | 13.5 | 40,020  |
| イー・ギランティ             | —    | 2.4  | 4,159   |
| <b>不動産業 (6.0%)</b>   |      |      |         |
| 日本駐車場開発              | 133  | —    | —       |
| ツクルバ                 | 0.4  | —    | —       |
| S R Eホールディングス        | 37   | 3.4  | 7,279   |
| ストレージ王               | 0.2  | —    | —       |
| ヒューリック               | —    | 27   | 35,856  |
| 野村不動産ホールディングス        | —    | 3.2  | 11,856  |
| 東急不動産ホールディングス        | 60   | 70   | 61,880  |
| ビーロッド                | 21.3 | 34   | 27,302  |
| 霞ヶ関キャピタル             | 5.2  | 3    | 24,210  |
| パーク 2 4              | 45   | 18.7 | 32,388  |
| 三井不動産                | —    | 32.4 | 106,952 |
| 三菱地所                 | —    | 36   | 69,948  |
| 住友不動産                | —    | 18.9 | 70,534  |
| 日本エスコン               | —    | 15.6 | 13,837  |
| 日本空港ビルデング            | 16.7 | 4.5  | 28,642  |
| <b>サービス業 (7.4%)</b>  |      |      |         |
| 日本工営                 | 4    | —    | —       |
| ジェイエイシーリクルートメント      | 10   | —    | —       |
| アイティメディア             | 2.5  | —    | —       |
| ケアネット                | 30   | —    | —       |
| パソナグループ              | 4    | —    | —       |
| ディップ                 | 4.4  | —    | —       |
| エムスリー                | 10   | —    | —       |
| Shinwa Wise Holdings | —    | 9    | 5,103   |
| セブテーニ・ホールディングス       | 45   | —    | —       |
| テイクアンドギヴ・ニーズ         | 21   | —    | —       |
| ブロードメディア             | —    | 54   | 82,782  |
| オリエンタルランド            | 2.5  | 9.8  | 45,883  |
| ラウンドワン               | 120  | —    | —       |
| テクノプロ・ホールディングス       | —    | 2.9  | 8,427   |
| ジャパンマテリアル            | —    | 27.7 | 64,541  |
| チャーム・ケア・コーポレーション     | —    | 20   | 21,620  |
| I B J                | 70   | —    | —       |

| 銘柄                 | 前期末      | 当期末   |        |           |
|--------------------|----------|-------|--------|-----------|
|                    | 株数       | 株数    | 評価額    |           |
|                    | 千株       | 千株    | 千円     |           |
| シグマクス・ホールディングス     | 19.2     | 60    | 86,940 |           |
| ウィルグループ            | 13.3     | —     | —      |           |
| フリークアウト・ホールディングス   | 16.5     | —     | —      |           |
| リクルートホールディングス      | 20       | —     | —      |           |
| ベルシステム 2 4ホールディングス | 40       | 5     | 7,495  |           |
| エアトリ               | 3.4      | —     | —      |           |
| アトラエ               | 15       | —     | —      |           |
| インソース              | 7        | —     | —      |           |
| エル・ティール・エス         | 2        | —     | —      |           |
| ミダックホールディングス       | 10       | 10    | 16,240 |           |
| インバウンドテック          | 3.4      | —     | —      |           |
| マネジメントソリューションズ     | 24.6     | —     | —      |           |
| フロンティア・マネジメント      | —        | 8.1   | 12,700 |           |
| アンビスホールディングス       | —        | 3     | 7,329  |           |
| きずなホールディングス        | 0.2      | —     | —      |           |
| リビングプラットフォーム       | 5.8      | —     | —      |           |
| NexTone            | 8        | —     | —      |           |
| リログループ             | 20       | 30    | 44,085 |           |
| 東祥                 | 80       | —     | —      |           |
| メンタルヘルステクノロジーズ     | 38.8     | —     | —      |           |
| サンウェルズ             | 3.8      | 1.2   | 2,954  |           |
| 笑美面                | —        | 0.9   | 1,116  |           |
| プロジェクトカンパニー        | 15       | —     | —      |           |
| ラバブルマーケティンググループ    | 0.3      | —     | —      |           |
| 大栄環境               | —        | 7.4   | 15,140 |           |
| i space            | —        | 6.1   | 5,343  |           |
| M&A総研ホールディングス      | 31       | 20    | 57,120 |           |
| I N T L O O P      | —        | 1.3   | 5,817  |           |
| Atlas Technologies | 0.9      | —     | —      |           |
| F C E Holdings     | 0.2      | —     | —      |           |
| エイチ・アイ・エス          | 10       | —     | —      |           |
| 共立メンテナンス           | —        | 13.5  | 76,464 |           |
| 建設技術研究所            | 3        | —     | —      |           |
| スバル興業              | 0.2      | 0.2   | 2,554  |           |
| カナモト               | —        | 9     | 21,474 |           |
| 藤田観光               | 11.1     | 4.4   | 17,820 |           |
| 合計                 | 株数・金額    | 5,274 | 3,951  | 8,194,136 |
|                    | 銘柄数 (比率) | 246銘柄 | 230銘柄  | <96.6%>   |

(注1) 銘柄欄の括弧内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 評価額欄の括弧内は、純資産総額に対する評価額の比率。

## ★投資信託財産の構成（2023年10月25日現在）

| 項目           | 当期末       |       |
|--------------|-----------|-------|
|              | 評価額       | 比率    |
|              | 千円        | %     |
| 株式           | 8,194,136 | 94.7  |
| コール・ローン等、その他 | 462,232   | 5.3   |
| 投資信託財産総額     | 8,656,368 | 100.0 |

(注) 比率は投資信託財産総額に対する評価額の割合。

## ★資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年10月25日現在)

| 項目              | 当期末            |
|-----------------|----------------|
| (A) 資産          | 8,656,368,894円 |
| コール・ローン等        | 215,630,222    |
| 株式              | 8,194,136,450  |
| 未収入金            | 184,980,542    |
| 未収配当金           | 61,621,680     |
| (B) 負債          | 169,545,977    |
| 未払金             | 169,528,723    |
| その他未払費用         | 17,254         |
| (C) 純資産総額(A-B)  | 8,486,822,917  |
| 元本              | 2,801,525,303  |
| 次期繰越損益金         | 5,685,297,614  |
| (D) 受益権総口数      | 2,801,525,303口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 30,294円        |

(注1) 当ファンドの期首元本額は4,302,573,068円、期中追加設定元本額は221,387,418円、期中一部解約元本額は1,722,435,183円です。

(注2) 1口当たり純資産額は3.0294円です。

(注3) 当運用報告書作成時点では監査未了です。

(注4) 期末における元本の内訳

|                                 |                |
|---------------------------------|----------------|
| MASAMITSU日本株戦略ファンド              | 1,218,797,937円 |
| MASAMITSU日本株戦略ファンド(DC向け)        | 120,426,690円   |
| MASAMITSU日本株戦略ファンド(適格機関投資家私票)   | 1,140,403,324円 |
| MASAMITSU日本株戦略ファンド2号(適格機関投資家私票) | 321,897,352円   |

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

## ★お知らせ

該当事項はございません。

## ★損益の状況

(2022年10月26日～2023年10月25日)

| 項目                 | 当期             |
|--------------------|----------------|
| (A) 配当等収益          | 180,672,036円   |
| 受取配当金              | 180,475,660    |
| その他収益金             | 196,376        |
| (B) 有価証券売買損益       | 1,220,983,279  |
| 売買益                | 2,859,056,308  |
| 売買損                | △1,638,073,029 |
| (C) 先物取引等取引損益      | △ 11,604,600   |
| 取引益                | 1,821,400      |
| 取引損                | △ 13,426,000   |
| (D) 信託報酬等          | △ 301,179      |
| (E) 当期損益金(A+B+C+D) | 1,389,749,536  |
| (F) 前期繰越損益金        | 7,270,300,313  |
| (G) 追加信託差損益金       | 442,612,582    |
| (H) 解約差損益金         | △3,417,364,817 |
| (I) 合計(E+F+G+H)    | 5,685,297,614  |
| 次期繰越損益金            | 5,685,297,614  |

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益、(C)先物取引等取引損益は期末の評価替えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 当運用報告書作成時点では監査未了です。